

2014 政経文化の集い「地」

日時：10月27日(月)

午後6時～第1部講演会

午後7時～第2部レセプション

講師：藤井裕久氏(元財務大臣)

会費：20,000円 浦和ロイヤルパインズホテル

がんばれ基金

たけまさ公一を応援する個人献金です。

1口500円×12か月＝6,000円より

*現金 *振込み *自動引落とし

☆個人献金は、寄付金控除の対象になります。

岩槻・浦和・緑・見沼区で、たけまさ公一とともにより良い地域を実現します
民主党埼玉県第1区地方議員並びに県政・市政担当者

浅野目 義英



県議・浦和区
昭和33年生まれ
民主党・無所属の会／環
境農林委員／地方分権・
行政改革・新都心整
備特別委員

井上 将勝



県議・見沼区
昭和54年生まれ
民主党・無所属の会／文
教委員／危機管理・大
規模災害対策特別委
員

神崎 功



市議・緑区
昭和30年生まれ
さいたま市議会副議長／民主
党さいたま市議団顧問／文教
委員／

高野 秀樹



市議・岩槻区
昭和35年生まれ
民主党さいたま市議団
長／党埼玉県連副代表／
地下鉄7号線延伸委員会
副委員長／総合政策委員

三神 尊志



市議・見沼区
昭和55年生まれ
民主党さいたま市議団/
市民生活委員会委員長
／地下7号線延伸委員／議会
改革推進委員

小柳 嘉文



市議・浦和区
昭和40年生まれ
民主党さいたま市議団/
大都市行財政制度委員／ま
ちづくり委員

武田 和浩



市議・見沼区
昭和36年生まれ
民主党さいたま市議団/
総合政策委員／見沼田
圃将来ビジョン委員

松岡 耕一



緑区・県政担当
昭和51年生まれ
民主党埼玉県第1区総
支部幹事

たけまさ公一プロフィール

昭和36年(1961年)生まれ、さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾
大学法学部政治学科、平成元年、松下政経塾卒業

平成11年埼玉県議会議員2期目当選 平成24年衆議院議員5期目当選

【内閣】元財務副大臣／元外務副大臣

【衆議院】財務金融委員会委員／憲法審査会会長代理

【民主党本部】組織委員長、税制調査会顧問 【民主党埼玉県連】代表代行

たけまさ公一事務所

●浦和事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2階 TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846

●岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12 TEL 048-749-6801 FAX 048-749-6802

●国会事務所 千代田区永田町2-1-2第2議員会館312 TEL 03-3508-7062 FAX 03-3519-7715

皆様のご意見・ご要望をお待ちしております メールアドレス voice@takemasa-k.jp



号外

埼玉県(第1区版)

平成26年10月3日発行

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
TEL 03-3595-9988(代表)
民主党埼玉県連広報局
さいたま市浦和区高砂3-6-16
TEL 048-833-3500 FAX 048-833-3503
URL http://minshu.org E-mail info@minshu.org

衆議院議員 たけまさ公一 国会レポート 第170号

地域ニュース

■造幣局東京支局新都心に移転(9月1日)

独立行政法人造幣局は 東京支局(東京・豊島)を三菱マテリアル総合研究
所跡地の「さいたま新都心」に移す為の入札で落札者が決定したことを発表
しました。この移転計画は武正議員が財務副大臣在任時の平成24年秋に土
地移転決定が行われました。3月の入札は不調で5月に再入札を行ったもの
です。新工場での操業は平成28年10月の予定です。

■埼玉県の空き家率10.9%への対応(9月23日)

総務省が発表した2013年の住宅・土地総計調査(速報値)で賃貸や別荘
などを除いた「実質的空き家」は埼玉県内で35万5000戸と08年の前回調査よ
り3万2400戸増えて、10.9%の割合となります。9月23日、国土交通省は地方
自治体が借り受けて子育て中の世帯が住みやすいように改修し、貸し出す
取り組みを促す方針を固めたと報じられています。埼玉県のみならず、さいた
ま市や他の市町村も同じく空き家対策が求められます。

■渋沢栄一翁の図柄の記念千円貨幣発行(9月29日まで)

地方自治法施行60周年を記念して平成20年から各県別の貨幣発行が造幣
局により行われました。今年度は、愛媛、山形、三重、香川、埼玉、石川の各
県です。埼玉県については渋沢栄一翁の図柄の千円銀貨幣プルーフ貨幣セッ
トの通信販売を行いました。

- weblog アメブロ <http://ameblo.jp/takemasa-koichi/>
- web site ウェブサイト <http://takemasa-k.jp/>
- twitter ツイッター @takemasakoichi
- facebook www.facebook.com/takemasatoday



■ 民主党両院議員総会と党役員人事(9月16日、29日)

民主党は16日、岩手県内で両院議員総会を開き、主要役員人事を承認し、代表代行に岡田克也議員、幹事長には枝野幸男議員が就任しました。あわせて、10年ぶりとなる両院議員研修会を開き、臨時国会を前に①集団的自衛権等安全保障政策②社会保障政策等についての議論を深めました。翌日は2グループに分かれ、武正議員は海江田代表等10数名の議員と共に大船渡、陸前高田の震災復興現場を視察しました。また、29日には党本部で両院議員総会が開かれ、他の役員人事や次の内閣人事が承認されました。武正議員は民主党「組織委員長」に就任しました。一年離れていた党役員に就任し、党の都道府県連、総支部長や自治体議員の窓口を担うこととなります。

■ 所信表明演説と各党代表質問(9月29、30日、10月1日)

第187国会が召集開会されました。3ヶ月以上国会は開かれずようやく開会となりました。この間、4月の消費税率引き上げ、冷夏や急激な円安の影響等実体経済の把握、ウクライナ情勢、イスラム国や北東アジア等外交安全保障への対応、10%への消費税率引き上げ、軽減税率、外形標準課税や専業主婦控除見直し等税制についての議論、財政再建について、社会保障の中身等懸案は山積みであります。しかし、安倍総理の所信表明演説には、地方の名産品ばかりの紹介。「地ビール」「カレー」「サンマ」等が目立ち、肝心の懸案には触れずじまいの為、各党代表質問で質すことになりました。会期は11月30日までの63日間です。

安倍首相の所信表明演説に対する各党代表質問が30日、1日と、衆議院本会議で行われ、野党共闘姿勢を打ち出す民主党が質問に立ち、第2次安倍改造内閣発足後初の国会論戦がスタート。海江田代表は、安倍首相が演説で集団的自衛権行使容認に触れなかったことなどを問

題視。「自分が言いたいことは言いたい放題だが、国会での議論はしたくない。首相にはおごった態度が滲んでいる」と追及しました。また、政府が重視する「女性の活躍推進」に関しては「生活や差別に苦しんでいる女性にこそ支援の手を差し伸べるべきだ」と主張し、女性貧困化の問題を質しました。3日から予算委員会その後各委員会に舞台は移ります。

■ 御嶽山噴火災害対策本部(9月29日)

民主党は29日、長野県と岐阜県にまたがる御嶽山の噴火による被害に対応するため、御嶽山噴火災害対策本部の第1回会議を党本部で開き、内閣府、国土交通省、消防庁、農林水産省、厚生労働省など関係府省庁から報告を受けるとともに、ウェブ会議システムを通じて党の長野・岐阜・山梨など被災県連から対応状況をヒアリングしました。

武正議員は党組織委員長として、対策本部の副本部長に就きました。会議では長野県連代表北沢俊美元防衛大臣が「事前予知困難」という気象庁の説明に対して更なる説明を求める一幕もありました。

■ 選挙権年齢に関するPT(9月30日)

与野党8党の実務者で作る「選挙権年齢に関するプロジェクトチーム(PT)」が行われ、国政・地方選挙の選挙権を「18歳以上」に引き下げる協議を行いました。成人年齢を同じく18歳以上に引き下げる民法改正の議論を見送ることは合意してありますが、「少年法の適用除外」については各党再協議になりました。武正議員は座長代理を務めます。今国会中の議員立法提出を目指すことを確認しました。公選法ほか3法律が改正の対象です。また、施行期日を次期参議院選挙からにするかどうか各党再協議になりました。